

## 平成 28 年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 人文学部  
氏 名 吉田悦子

活動テーマ	「多文化共生を支援するワークプレイスの課題を探る：接触場面における情報共有とリスク回避のためのコミュニケーション行動調査」
実施期間	平成 28 年 6 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 三重県の養鶏場経営という地域産業を支える職場において、外国人労働者を雇用することで生じる摩擦にどう対応するかという課題に取り組み、3 年目となった。本年度は、H25～26 年度にかけて実施した調査に基づき、実証的な方法で分析と考察を行い、その成果を 2 件の発表により（うち 1 件は国際学会への投稿論文）、報告した。外国人研修生を雇用することで生じる摩擦の要因は、研修生の日本語コミュニケーション能力だけではなく、雇用者と研修生双方の情報伝達方法や異文化の受容において認識のずれがあることが明らかになった。データ分析の結果、日本人側が留意する問題のほとんどについて、研修生側の認識が乏しく、その問題に対する留意の程度に日本人とのずれが観察された。活動成果としては（1）制度上の大きな問題や技術習得への障害は発生していないために、問題に対する異なる留意にも双方が気づかなかったり、問題が潜在化されたり、調整を諦めたりする実態について、具体的に示すことができたのは有意義であった。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり） 地域のワークプレイス、とくに協働作業現場で、母語が日本語ではない外国人が日本人との接触場面で直面する言語行動の問題を「留意の違い」として明らかにすることで、地域の職場で潜在化する課題に気づき、理解を深めるとともに、異文化接触に関係する地域の職場の実態に即した実質的な支援を提案することで、地域の発展と活性化に寄与できうと考えている。 また、接触場面での貴重なコミュニケーション活動の事例は、他地域・異業種での職場場面や、異なる関係性によるコミュニケーション活動など、多文化共生全般に応用可能なコミュニケーション・スキルの抽出と蓄積を継続することで、様々な貢献が期待できる。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 職場での課題については、共同実施者にフィードバックして、職場でお互いが直面している多くの摩擦やストレス要因についての認識を深め、どのような情報共有と問題解決の手がかりが今後必要となるかを検討した。そして、連携としては (i) 特に初年度研修生向けに日本語と中国語のバイリンガル・マニュアル作成を目標として協力を依頼し、現行の改訂版を作成する準備を行っている。 (ii) 日本語学習サポートとして、通信教材を紹介し、職場内での日本語学習（自習と共同支援）を習慣づけ、持続的な学びを支援する環境整備をサポートした。こうした取り組みを 1 事例として、地域の多文化共生への支援に結びつける方策を検討する必要がある。</p>

(4) 大学の教育・研究成果のかかわり

(1) で述べたような活動成果は、国際学会で報告されたことで、問題の解決や軽減の可能性を探るための実質的な方策を議論する機会が得られ、国際的な視点からの意見交換を行うことができ、貴重な研究成果となった。

教育面においては、異文化接触のある地域の職場において、日本語教育の担う役割や課題が明確になった。資金的な面については、今後の課題であるが、科学研究費や民間団体の外部資金獲得により、共同事業者との協力と連携が得られるよう、働きかけていく予定である。

研究成果報告は以下の通りである。

(1) (論文) 吉田悦子・大場美和子 (2016) 「中国人研修生と日本人雇用者が留意した問題の違い—養鶏場における就労場面とインタビューデータの分析から—」『International Conference on Japanese Language Education』インドネシア日本語教育学会 (本報告は、2016年9月10日にバリ、インドネシアにて行ったポスター発表に基づいて、e-Proceedingで公開。)

(2) (学会発表) 吉田悦子・大場美和子 (2017) 「外国人研修生の職場で語られた問題と変化を探る：養鶏場における日本人雇用者のインタビュー・ナラティブの分析」『ナラティブ(語り)研究の社会貢献を考える』ラウンドテーブルにて口頭発表した。(本報告は、3月9日に龍谷大学にて口頭発表。)

(5) イベント等開催実績 (名称, 実施場所, 参加人数等)

活動成果報告・意見交換会：スズラン (株) 内、参加者7名。

(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について

※継続4年目以降 (認定) の活動については、これまでの継続した取組みによって得られた具体的な成果について記述願います。

\*この欄について、該当せず。